

☆子どもの権利条約 ワークショップ（実施案）

◎設定・条件

- ・場所…井上さん・中川さんの協力を得て、「マイケルハウス」で行う。
- ・対象…小学校の高学年～中1。
- ・人数…6～7人。
- ・時間…40分くらい。

◎内容

- ・「子どもとおとな、何が違う？」

◎ねらい

- ・子ども達に、大人と子どもの違いを考えさせるとともに、色々な意見があることを知らせる。また、子どもの権利についても知らせる。

◎使うもの・用意するもの

- ・付箋3色（各色1人5枚ずつ）
- ・振り返りシート1枚。
- ・鉛筆人数分
- ・模造紙

◎進め方

①まず子ども達に質問する。「子どもとおとなの違いってなんだと思う？」（5分くらい）

- *例えば、「大人はお酒が飲める」「子どもは飲めない」
、「大人はタバコが吸える」「子どもは吸えない」

*出たものは、土田の方で、付箋にメモして模造紙に貼り、後で参考にする。

*できるだけ色々出させて、子ども達の大人観を知る。

②今から3色の付箋を5枚ずつ配ります。これに「大人は〇〇である」、「子どもは〇〇である」、「大人も子供も〇〇である」という3つの事柄を考えて、書いてみよう。

*土田の方で、模造紙に3色の付箋を貼る。色がわかるように！

A、まず黄色に「大人は〇〇である」を書いてみよう。

*時間を5分間とる。

- ・指示の意味が分からずに書けない子どもには、アドバイスをする。但し、無理に書かせるのではなく、どうして書けなかったのかも聞いて、子どもの意見を引き出す。

B、次に黄緑に、「子どもは〇〇である」を書いてみよう。（5分）

C、最後にピンクに、「大人も子供も〇〇である」を書いてみよう。（5分）

③では、発表して、それを模造紙に貼ってもらいます。（10分）

- ・A君は？
- ・B君は？

④では、次に、これを見て、「これは当たり前」と思うものと、「これはおかしい」と思うものを分けてみよう。（5分）

- *例…「大人はお酒が飲める」「子どもは飲めない」

…「大人は好きなことが言える」「子どもは好きなことが言えない」

A、「これはおかしい」と思うものを挙げてみよう。

- ・まず、子ども達から出るのを待つ。
- ・次に、一つ一つ「これはどう思う」と、聞いていく。

⑤最後に、この中で、子どもにも「権利」として認められているものがあります。

- ・それは何でしょう？

*少し子どもから出させた後、説明する。

- ・意見表明権

・

⑤これで「子どもとおとな、何が違う？」は終わりました。

- ・気付いたことや感じたことは何ですか？

⑥「振り返りシート」に感想などを書く。